

改憲
大合唱

狙いは9条に

参院選の
大争点

「憲法を生かし、政治を変える」

日本共産党 たつみコータローが語る

「自民党と手を組み

改憲勢力を

3分の2に

維新・
橋下代表

強力な

軍事国家に

維新・
石原代表

「国防軍」を

明記せよ

自民党・
安倍首相



5月3日、66回目の憲法記念日を迎えました。

安倍自公政権誕生後にわかに強まる改憲論。日本維新の会も自民党と手を組んで「参議院で改憲勢力を3分の2以上に」と叫んでいます。

安倍首相 &
石原・橋下・維新コンビで

世論調査をみても、国民のあいだでは9条の改憲などに反対する声が多数です（グラフ参照）。

自民党は憲法改憲草案で9条の改定、「国防軍」創設を明記しています。日本維新の会は党の綱領でいまの憲法を「占領憲法」と批判し、「大幅に改正」としています。

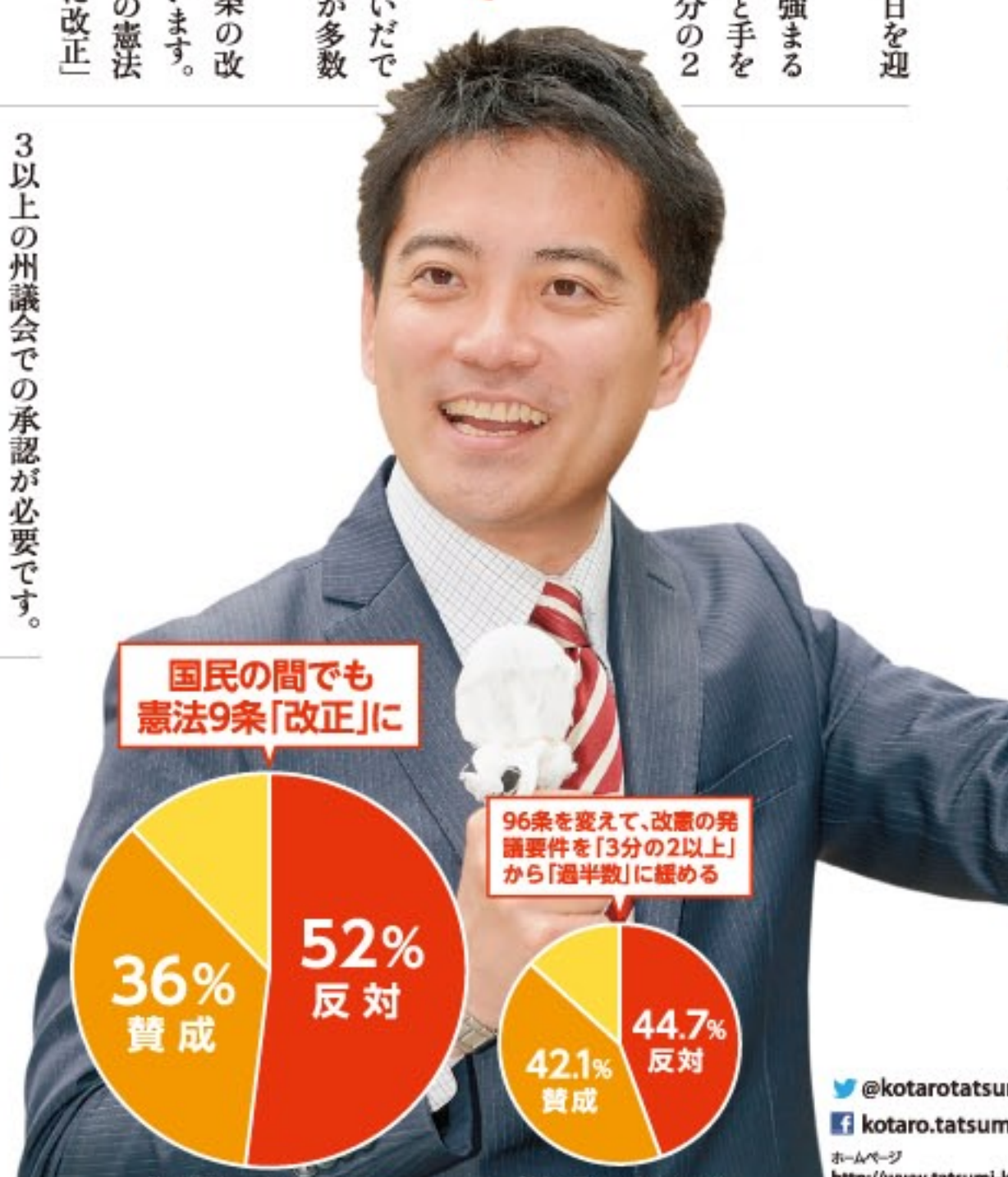
憲法は権力暴走の歯止め
憲法の性格変える
「96条改正」問題

安倍・自民党も維新も、そろって「まず96条改正を」とのべ、これを参議院選挙の争点にするといっています。

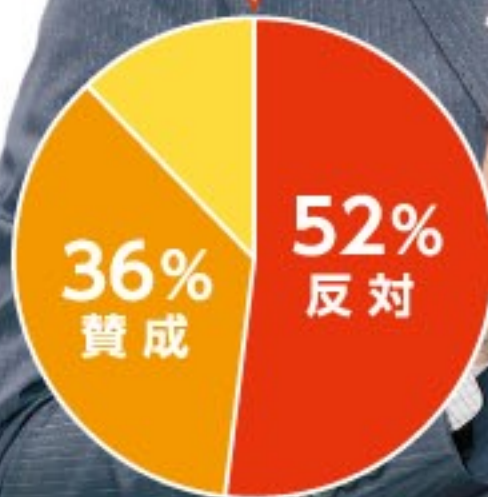
これは改憲の発議が「国会の3分の2以上の賛成」とされているのを「2分の1」にして、改憲をやりやすくする狙いがあります。まずハードルを下げてから、本命の9条改憲をやらうというのです。

彼らは、日本の憲法は世界でも特別に変えづらい、といいます。これは事実ではありません。アメリカでは上下両院の3分の2以上の賛成と4分の

府くらし雇用
対策委員長



国民の間でも
憲法9条「改正」に



96条を変えて、改憲の発議要件を「3分の2以上」から「過半数」に緩める



3以上の州議会での承認が必要です。フランス、ドイツ、韓国でも同様です。憲法96条が衆参両院の3分の2以上、国民投票で過半数というハードルをもうけているのは、そもそも憲法とは「主権者・国民の側から国家権力をしぼる」ものであり、時の政権によって制定や改正が簡単に左右されてはならないため、決められているものです。それが立憲主義の精神です。

日本共産党は、9条はじめ
すべての憲法を守り抜く

これまで日本は憲法9条が歯止めとなり、戦後一度も、戦争によって殺し、殺されることがありませんでした。いま、尖閣諸島など領土問題や北朝鮮の核実験や弾道ミサイルの問題が起こっ

ていますが、「紛争がおこっても戦争はしない。平和外交によって解決する」これが21世紀の世界外交の流れであり憲法9条の精神です。
96条改悪を突破口とし、9条改憲がされるなら、アメリカの要求のもと戦争をする国になってしまいます。
日本共産党は、あの侵略戦争に命がけで反対した歴史をもっています。戦後、侵略戦争の痛苦の経験から国民のみなさんとともに平和主義、国民主権を憲法にもりこみました。国防軍が創設され、徴兵制が復活し、ふたたび国民が戦争にかりたてられることがあってはなりません。改憲連合と正面から対決できるのは、大阪の政治戦では私一人です。